中学校３年【国語】『新編　新しい国語３』（東京書籍）　（例）

教科書を活用した家庭学習例～計画的な家庭学習へ向けて～

|  |  |
| --- | --- |
|  | 課題内容 |
| 第１回 | 【単元名】「生命は」　【ページ】表紙裏  【学習の流れ】  １　題名からイメージしたことを、ノートに書く。  ２　詩を繰り返し音読して、効果的な表現や詩の文末に線を引く。  ３　詩の意味や効果的な表現を捉え、文末表現などに注意して、読み方を工夫して音読する。  【学びの確認】  ・作者が詩を通して伝えたいことと、それに対する自分の考えをノートに書きましょう。 |
| 第２回 | 【単元名】言葉を磨く「二つのアザミ」  【ページ】１８～２０ページ  【学習の流れ】  １　題名でキーワードを確認する。  キーワード「二つ」「アザミ」「薊」  ２　段落に番号を書き、段落数を確認する。  全文を音読し、内容を大まかにつかむ。読めなかった漢字は、教科書本文の右側にふりがなを書く。  　意味が分からない語句は、辞書で調べる。  ３　「アザミ」と「薊」について、それぞれノートにまとめる。  【学びの確認】  ・二つのアザミの対比的な表現に注目して、筆者の言葉に対する考えについてノートにまとめましょう。  ・ワークブック等を解きましょう。 |
| 第３回 | 【単元名】言葉を磨く「俳句の読み方、味わい方」「俳句５句」  【ページ】２１～２５ページ  【学習の流れ】  １　全文を音読し、読めなかった漢字は、教科書本文の右側にふりがなを書く。  　　意味が分からない語句は、辞書で調べる。  ２　俳句の形式や特徴について、最初の２段落と最後の段落、２５ページを読んでノートにまとめる。  ３　俳句の後にある鑑賞文を読み、俳句のよさを味わう。  【学びの確認】  ・「俳句５句」から、気に入った俳句を一句選び、その俳句のよさを伝える鑑賞文をノートに書く。鑑賞文には、俳句から想像したこと、表現の工夫として効果的だと感じたこと、季語や切れなどを書きましょう。  ・ワークブック等を解きましょう。 |
| 第４回 | 【単元名】言葉を磨く「俳句を作って句会を開こう」  【ページ】２６～２７ページ  【学習の流れ】  １　全文を読み、俳句の作る上で大切だと思ったところには線を引く。  ２　身の回りを観察して気付いたことや、自分の体験を材料に、季語を一つ詠み込んで俳句を作り、ノートに書く。  ３　俳句を音読する。  【学びの確認】  ・俳句で伝えたい情景や心情、季語などをノートに書きましょう。 |